

柿木良平 かきぎらへい 小説家。生没年不詳。

譯著書、『セイデウイッソ』著 可驚異の殺人光線 (譯、昭和十五年四月)

八(三)三郎出版社)、ヤンリ・デュヴェルノヤ作『女の蔭心』(譯、昭

和十五年八月)二十一日大仙書房)、ポール・ヴィヤラー作『海の薔

薇』(譯、昭和十五年十一月五日時代社)、『東京の女たち』(昭和

十六年七月五日越後屋書房)、『石狩の歌』(昭和十七年一月十日越

後屋書房)、『南方の街』(昭和十七年五月二十日越後屋書房)、『キ

勝の春』(昭和十七年十一月十五日越後屋書房)、北の『巨人依田勉三』

(昭和十八年六月二十日越後屋書房)、『燈の人々』(昭和十八年十

二月十五日金鈴社)等。

